

株式会社ユニリウ  
証券コード：3800

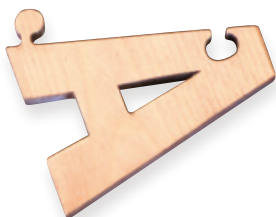


2020年3月期 第1四半期

# 決算レポート

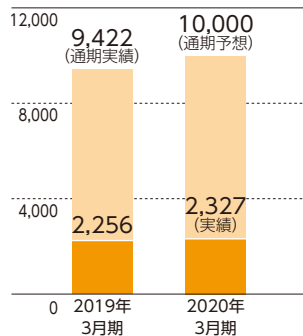
2019年4月1日～2019年6月30日

- 株主の皆さまへ
- 事業トピックス

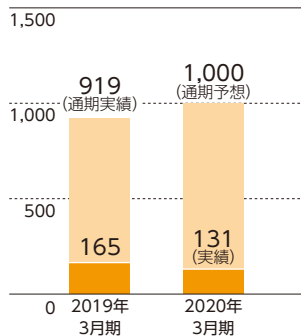


## 第1四半期業績ハイライト (単位：百万円)

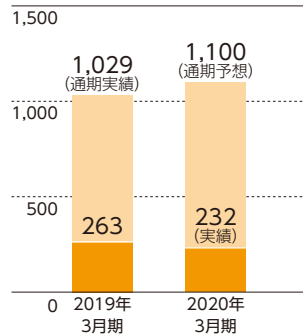
### 売上高



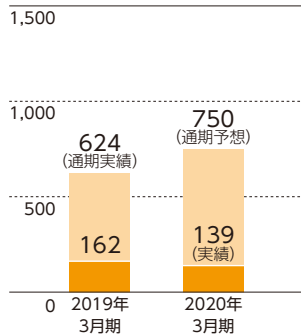
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 四半期純利益



## 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り誠にありがとうございます。

ここに、2020年3月期第1四半期決算レポートをお届けいたします。

### デジタル変革(DX)の大きなうねり

2018年9月に経済産業省より発表されたDXレポートでは、複雑化・ブラックボックス化した古い情報システムや旧態依然とした組織・業務プロセスがデジタルトランスフォーメーション(DX)の阻害要因になり、放置すると2025年以降、企業にとって甚大な経済損失を生じさせる可能性を警告しています。

このような状況にあって、多くの企業のITは次のような課題を抱えています。

- 1) 過去に導入した既存のシステムではデジタルビジネスに対応できない。
- 2) 競争を勝ち抜くためには、最新のデジタル技術を駆使し、新しいビジネスモデルをいち早く構築しなくてはならない。

### 当社事業の追い風に

ITの急速な進展により、産業構造やビジネスモデルがかつてないスピードで変革する中、企業が競争を勝ち抜いていくためには、従来の社内業務効率化・利便性の向上を目的とした「守りのIT」投資にとどまることなく、デジタル技術を駆使したビジネス変革により、企業価値向上や競争力強化に結びつく戦略的な「攻めのIT」投資が重要です。

これは、現行ビジネスを維持・管理している「守りのIT」を「攻めのIT」投資でどのように変革していくかという両方の領域に関わるテーマでもあります。

現在、このような背景から、産業界では、データのデジタル化や基幹システムの再構築案件が増加しています。まさに、当社の強みである「守りのIT=システム運用」と「攻めのIT=データ活用」に関するビジネスニーズが高まっていると感じています。

当社グループでは、この両方の領域に対応できる強みを活かし、クラウド事業、プロダクト事業の基盤強化と当社グループならではの成長・新規事業を推進します。

### 新規事業のテーマは「社会課題の解決」

当社グループでは、将来に向けた事業の柱として、「ITを活用した社会課題解決への挑戦」を新規事業のテーマとして取り組んでいます。現在、「働き方改革」「地方創生」「一次産業活性化(農業)」にフォーカスし、業界特化型事業として推進しています。目指すは、データを武器とした事業モデルの構築です。大量のデータを集約、解析することで、効率化、生産性、利便性の向上を図り、周辺マーケットの活性化や拡大に向けた価値のあるデータを提供しようとするものです。

今年度は、現在推進している中期経営計画の2年目にあたります。将来の成長に向けた事業構造変革のための投資を継続しつつ、増収増益、そして増配に向けての事業計画を推進いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年8月

代表取締役  
社長執行役員 北野 裕行

## 第1四半期 業績のポイント

### 【売上面】

クラウド事業では主力サービス「LMIS」「DigiSheet」のユーザ数が堅調に推移し、継続利用料も順調に積み上がり、前期比+17.8%増収。プロダクト事業では、DXの潮流の中で起こるシステム運用の統合化や自動化ニーズを取り込み自動化製品の案件が増加。帳票系では顧客の基幹系システム更改に伴う大型案件を受注し、前期比+16.1%増収。

### 【損益面】

主要因としては、メインフレーム事業における一部案件の受注遅れが影響。クラウド事業では、サービス競争力強化のために必要となる投資を継続。なお、同事業の損益へのマイナス影響は通期売上の伸長により縮小する計画。

## ユニリタグループのブランディング活動

当社グループでは、グループの事業活動情報をマーケット、お客様、株主様などのステークホルダーの皆さまに発信するために、ホームページなどのWebを中心とした情報発信を計画しています。

当社とグループ各社は、主にBtoBのビジネスを行っているため、製品やサービスが株主の皆さまの目に直接触れる機会が少なく、事業や主力の製品・サービスについて分かりにくいところもあろうかと思えます。

#### 【朝倉あきさんプロフィール】

1991年9月(福岡生れ)

<主な出演作品>

2019年:BSテレビ東京「歌舞伎町弁護士 凛花」美鈴凛花役(主演)

映画「七つの会議」浜本優衣役

2018年:TBS「下町ロケット」加納アキ役

2017年:NHK「おんな城主 直虎」高瀬役

2016年:WOWOW「洗まぬ太陽」恩地純子役

そこで、今年度は、グループ事業をご理解いただくために、「ユニリタグループを探索する」、という趣旨で、ホームページから情報発信を行っていく計画です。

その案内役として新進女優の「朝倉あき」さんを起用し、当社グループの事業を、分かり易くお伝えしていこうと思います。



## 事業トピックス

### ■Waha! Transformerでデータ精度を向上！

今、多くの企業がデジタル変革や働き方改革の中で取り入れている旬のテーマの一つに「RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)」があります。そこで今回、当社が提供するRPA関連ソリューションをご紹介します。

国内で進む労働人口の減少に伴い、効率的に仕事や作業を行い成果につなげることが求められています。

当社ではパートナー企業のアライズイノベーション(株)と組み、OCR(光学文字認識)で読み込んだ書類のデータ精度を「Waha! Transformer」を用いて向上させ、業務効率化や生産性向上を図るソリューションを提供しています。同社のOCR機能を持つ「AIRead」はAI(人工知能)で文字認識し、文書を自動で読み込み簡単にデータ化することができます。しかし、データ精度をさらに向上させるためには、人の目による確認が必要でした。

そこで、当社の主力ETL製品「Waha! Transformer」の出番です。データの連携や加工以外に、データの突合確認が得意なため、読み込んだデータを「Waha! Transformer」を用いて、人手をかけずにデータ精度を向上させることができます。

これにより担当者の二重チェックなどの負担が減り、業務の効率化と生産性向上を実現することができます。当社は、さまざまなパートナー企業とお客様の業務課題解決に向け取り組んでまいります。

### IRカレンダー(予定)

11月7日(木):2020年3月期第2四半期決算発表  
12月9日(月):中間配当金支払い開始

## 株主総会のご報告

当社は2019年6月13日、第37期定時株主総会を開催し、384名の株主様にお越しいただきました。株主総会の中では「中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題」について、株主の皆さまのご理解がより深まるよう、当社社長の北野よりご説明しました。

株主の皆さまからは前期業績や来期計画、新規事業の内容、株価の動向などについて、活発なご質問をいただきました。

また、総会終了後には、中期経営計画の中で取り組んでいる「社会課題(働き方改革・地方創生・一次産業活性化)の解決」に関連する新規事業の展示説明会を開催し、当社や当社グループ会社の普段は目にしていなかったサービスや新規事業の取り組み内容などをご覧いただきました。

なお、総会にご来場いただいた株主様へのお土産としては、新規事業の一つである農業系SaaS事業の中でご協力いただいている千葉県旭市周辺の農家の



方々が作られている新鮮な野菜や野菜を用いた加工品の詰め合わせセットをご用意しました。



### 会社概要 (2019年6月30日現在)

商号	株式会社ユニリタ
設立	1982年5月
上場	東京証券取引所 JASDAQ(証券コード:3800)
資本金	13億3,000万円
所在地	〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
お問合せ	広報IR室 TEL:03-5463-6384 Mail:ir_info@unirita.co.jp